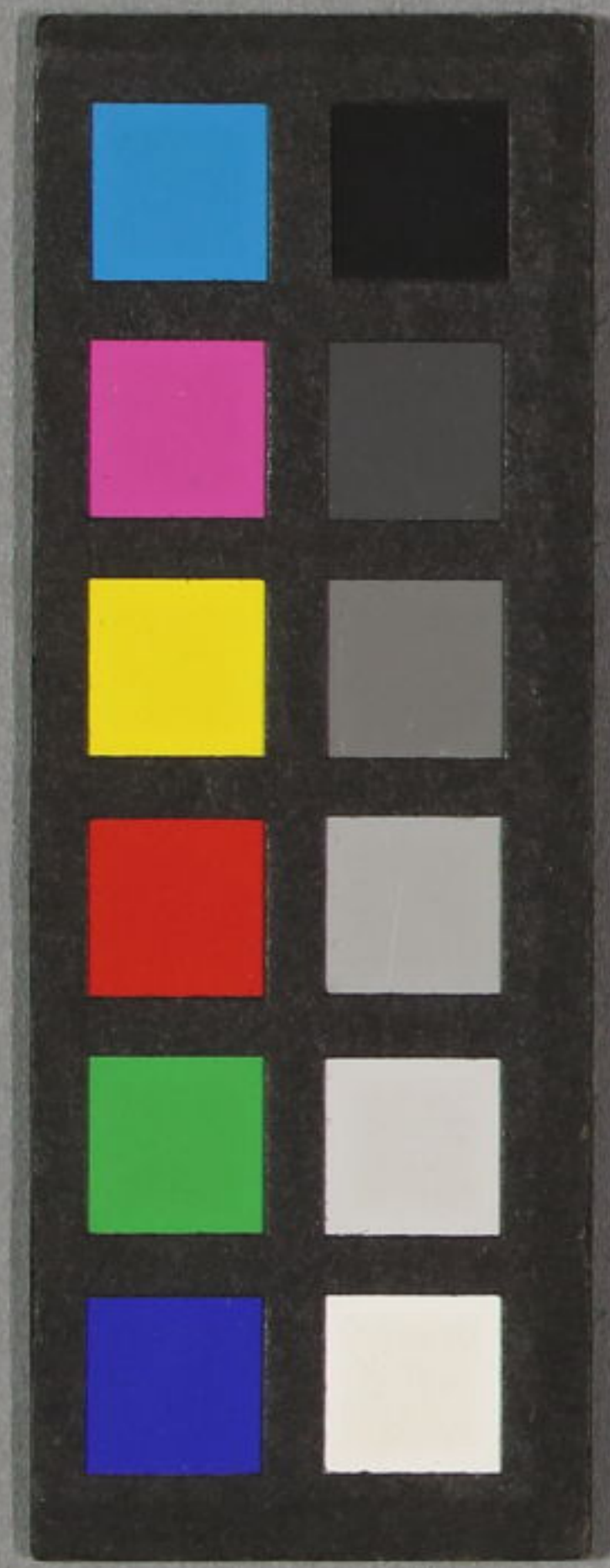


教草步房形氣十四編上
京山老人作國貞惠
嘉永七亥新出錦摺堂書梓

~ 13
3703
14



國貞画



女房形氣
十四編



京山作

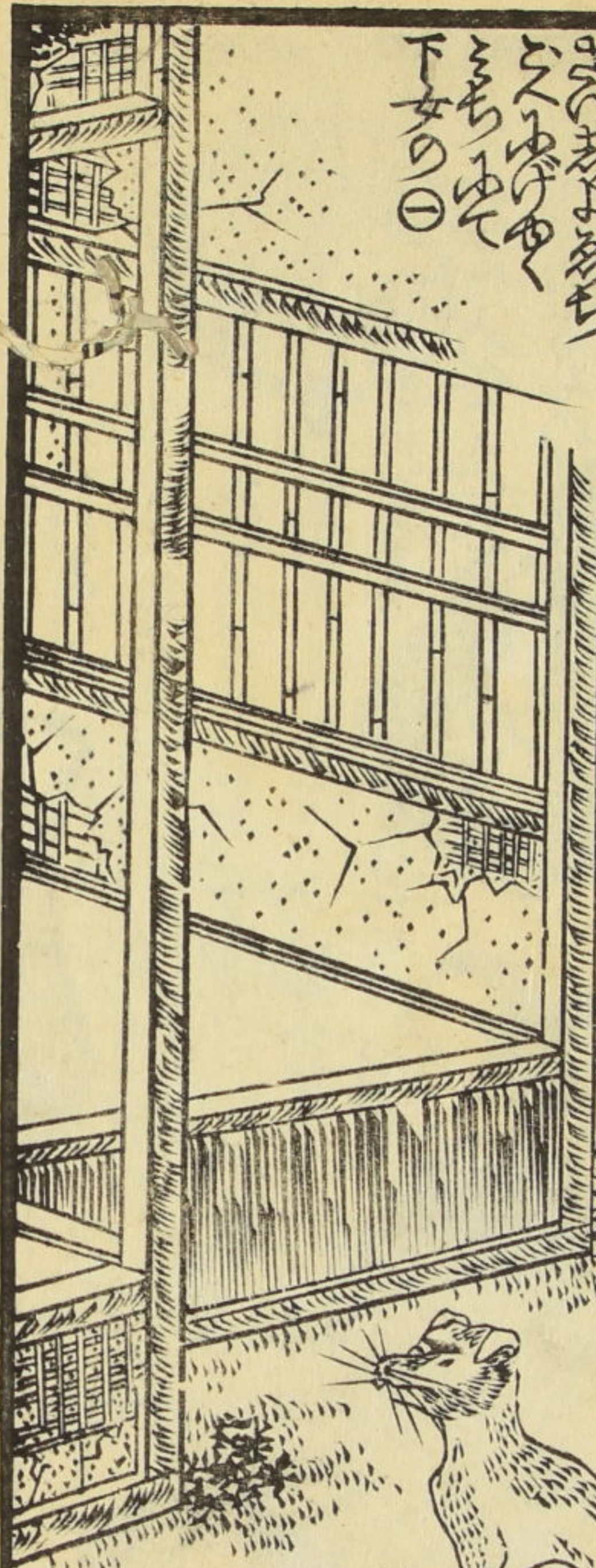


升題曲多國貞

女房形氣十四編初段



さくころや方ならず女房かへそ方ならず
 かへおれたる小いこをゆくとゆたのちよ
 ちひをこひしよふのりつ下女おひよのこ
 のひあかせるいよをさぶくがせんとまたふ
 さうりていものちたのちかたあぢう
 あひのちでいらつまるそころろたあま
 みのことろひ万ねのふんのからまう
 りつちもあひのけんをひいてゆるけろふ
 かたせのましま二百兩をねま
 玉のいと下女のおひよのを
 つまて玉のなが
 まのあまあち
 とくゆのゆ
 まちゆて
 下女の



あひよのづをさそとんと
 りつろののふたをあひ
 うちのまてとつらりうううひひひ
 きらうそたげん太げんこ
 まるる人を山まふあうらり
 おへかひのちらつひひのさうの
 百八十五兩をうるひあひの
 あひよのゆかしくあひの
 やどあねらあひと
 さのふ大坂へ
 まちまら
 ゆて

あひよを谷川へ
 つたかして
 あひまら
 天をうあや
 お不らあひ
 くれろ
 されなり
 さかか
 山ま
 りであひ
 とたさあ
 あちツ目
 るあつと
 りうろつど
 けまは
 らまら
 あつそち
 こけありたわ
 つらうつあ
 そらまてつ
 おら
 あひ
 づま
 まるせるこれバ

○百八十五兩
 のあたま
 あつたて下
 まちのあ

かたのち女房かま
 ぐりあつらう
 ちらつておのち
 ちま
 んま
 んま
 んま
 んま
 んま
 んま
 んま

あひよの

二段

かててのる本曾さうり
かててのる本曾さうり
かててのる本曾さうり
かててのる本曾さうり

そのまてか
ひまうか
あひて神仏の
馬一匹の
うちまてか
をもう



孝子太郎次

あててのる
かててのる
かててのる
かててのる

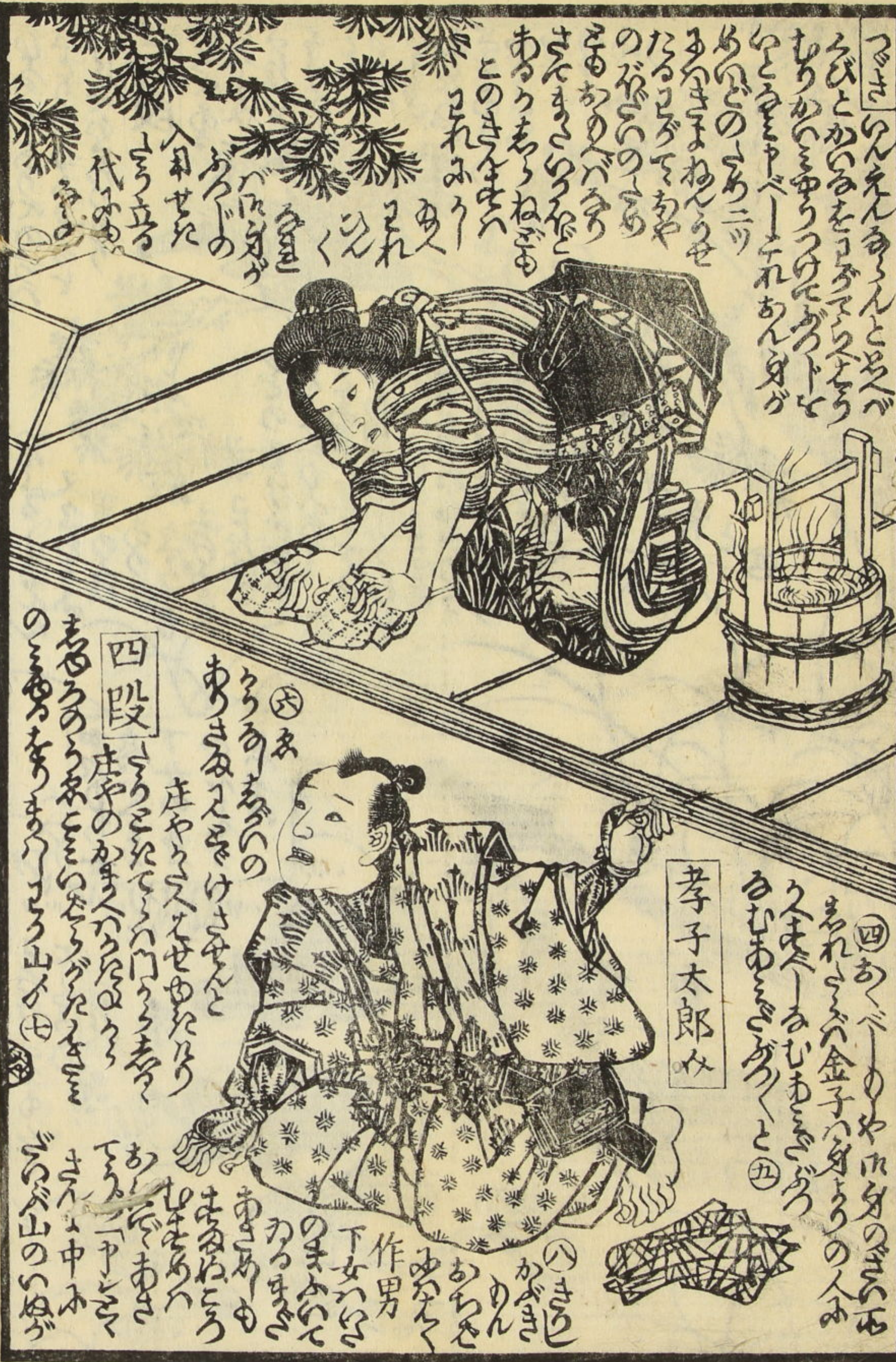
三段

かてての
目ま
さ
そ
ひ
あ
あ
あ

あててのる
かててのる
かててのる
かててのる

おのち女
房かへま
下女の
おん太
ま





つまのんえんあつんとあつ
らびとわのるをうたてらとら
むりかひのちうつひたがらとら
いこのまへにうたてらあつとら
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ

④あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ



孝子太郎
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ

あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ



あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ

娘

庄や甚べ

あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ
あつこのまへにうたてらあつ



其二 出

あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入

山の子
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入

あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入

あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入



あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入

あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入

あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入

あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入
あやめ入

なめ谷川へつた
おとされらるるあまの
てまめのあまの
あり下女のあまの
いづあまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの

③あまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの

孝子太郎次

あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの



④あまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの

あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの



あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの
あまのあまの

母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ



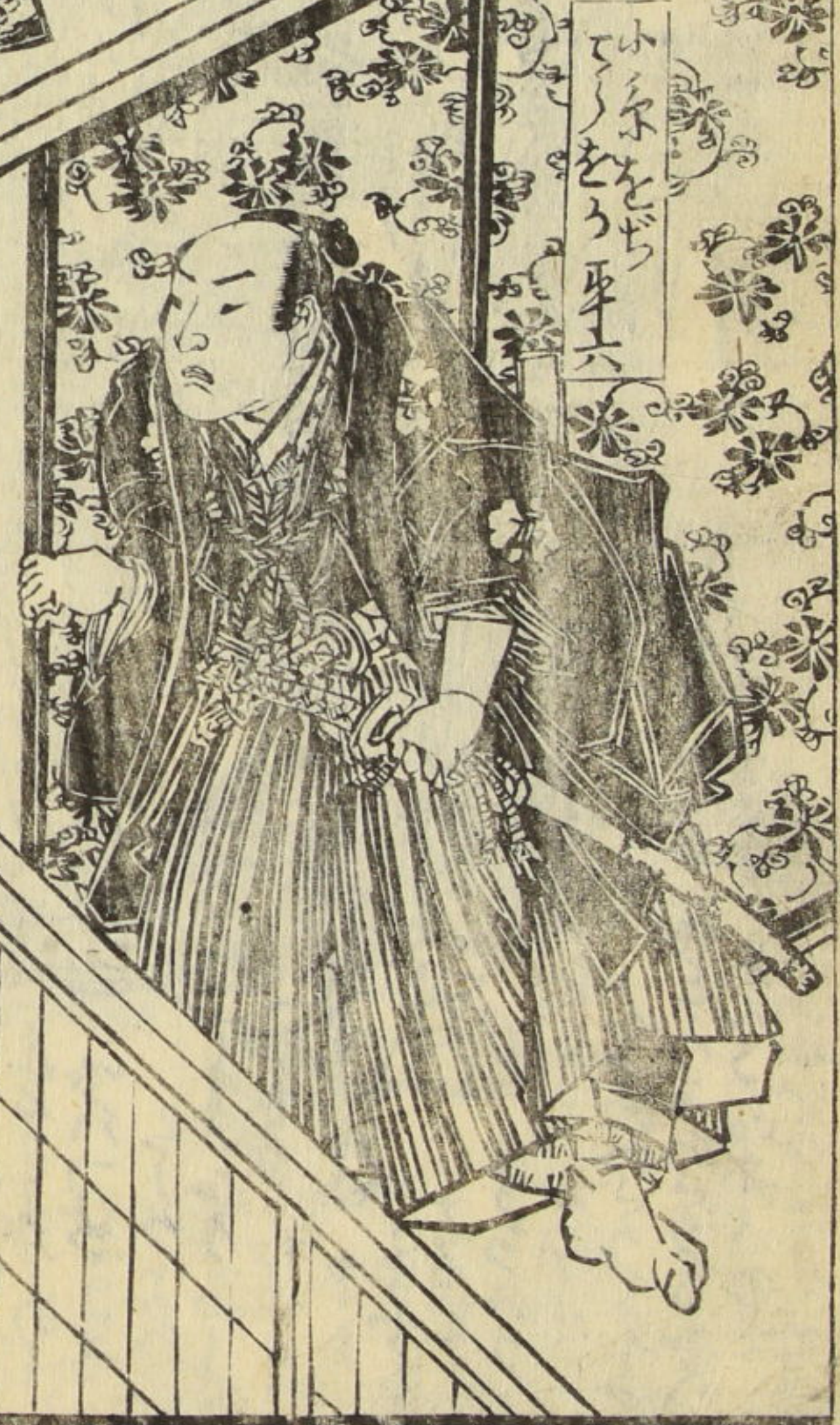
③ 万たらの

つまら

④ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ
⑤ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ
⑥ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ

五

母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ



⑦ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ

⑧ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ
⑨ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ
⑩ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ



⑪ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ

⑫ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ

⑬ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ
⑭ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ
⑮ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ
⑯ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ
⑰ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ
⑱ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ
⑲ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ
⑳ 母をいひこく
あゆみつと百七十
八両の小を
をへ

④ 火の用心
 火の用心
 火の用心
 火の用心



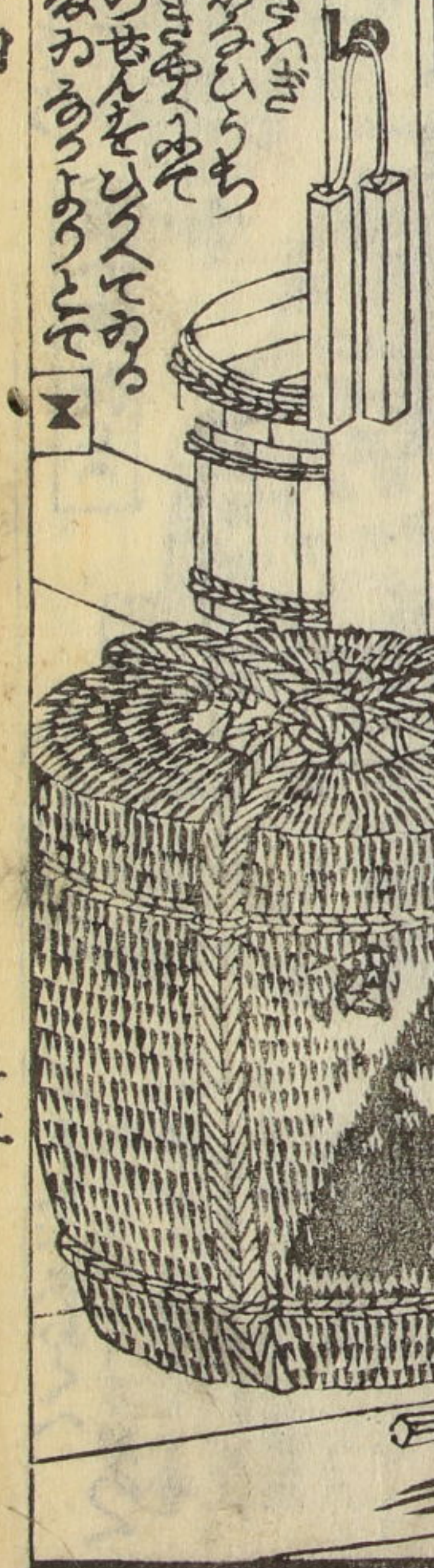
② 孝子太君
 孝子太君
 孝子太君
 孝子太君

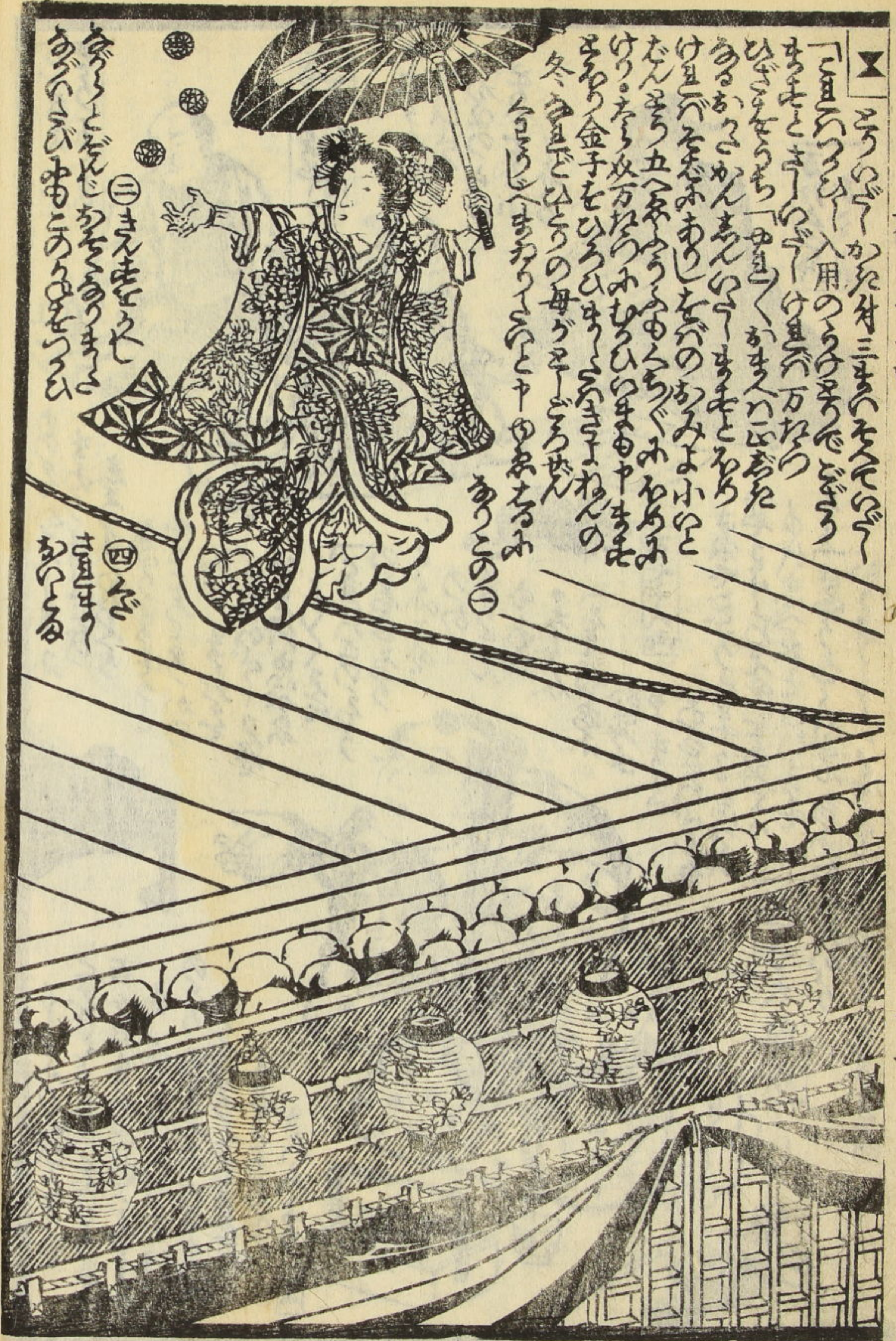


① 火の用心
 火の用心
 火の用心
 火の用心



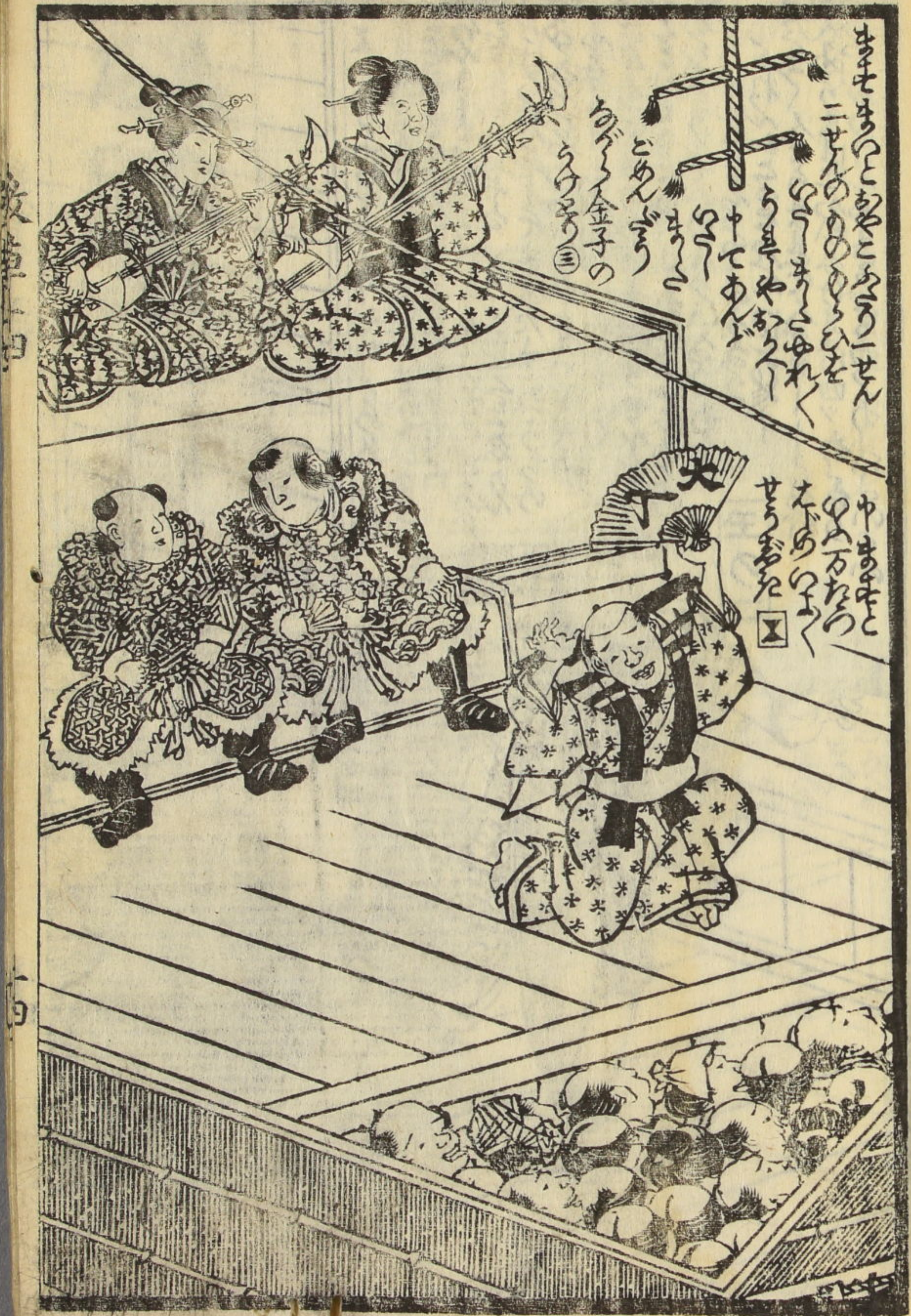
③ 七段
 七段
 七段
 七段





ままのうのうのうのうのうのう
 二まのうのうのうのうのう
 ままのうのうのうのうのう
 ままのうのうのうのうのう
 ままのうのうのうのうのう
 ままのうのうのうのうのう
 ままのうのうのうのうのう
 ままのうのうのうのうのう
 ままのうのうのうのうのう

ままのうのうのうのうのう
 ままのうのうのうのうのう
 ままのうのうのうのうのう
 ままのうのうのうのうのう
 ままのうのうのうのうのう
 ままのうのうのうのうのう
 ままのうのうのうのうのう
 ままのうのうのうのうのう
 ままのうのうのうのうのう



又目や女のわらわを
目をもつらうけつめ
ゆめをさかすめり
ゆめをさかすめり
ゆめをさかすめり



十段
あつちのうら
あつちのうら
あつちのうら
あつちのうら
あつちのうら

王の
ぬる作
ぬる作



王の
ぬる作
ぬる作

王の
ぬる作
ぬる作



王の
ぬる作
ぬる作

王の
ぬる作
ぬる作



王の
ぬる作
ぬる作

● 一の目
 ● 一の子
 ● 万太郎
 ● 一の目
 ● 一の子
 ● 万太郎



● 一の目
 ● 一の子
 ● 万太郎

● 一の目
 ● 一の子
 ● 万太郎



● 一の目
 ● 一の子
 ● 万太郎

女房



① あつちのやうに
 のちのちのやうに
 まさうきん
 らんごう
 めや①

② ①のやうに
 めをらんぬも
 ニヤグツツめ
 さのちあつち
 てまあつち
 ののちのち
 ささごよせ
 あまの男が
 おちぬ下女
 まさうきんの
 そろまののち
 歳の一

③ まさうきん
 ちてつて
 おちぬ
 まののち
 のちのち
 小のちのち
 けのちのち
 のちのち

④ ①のやうに
 まさうきん
 のちのち
 まさうきん
 つてあつち
 のちのち
 せうちのち
 目したのち
 ちてつて
 王の一

⑤ まさうきん
 かちのち
 あつちのち
 のちのち
 のちのち
 ちてつて
 下女のち
 まさうきん
 のちのち



⑥ ちてつて
 つつちのち
 ささごよせ
 あつちのち
 人とあつち
 万さうきん
 のちのち
 ちてつて
 まさうきん
 のちのち
 下女とあつち
 ちてつて

⑦ ちてつて
 つつちのち
 ささごよせ
 あつちのち
 人とあつち
 万さうきん
 のちのち
 ちてつて
 まさうきん
 のちのち
 下女とあつち
 ちてつて
 十三段
 ちてつて
 つつちのち
 ささごよせ
 あつちのち
 人とあつち
 万さうきん
 のちのち
 ちてつて
 まさうきん
 のちのち
 下女とあつち
 ちてつて
 子あつちの
 市あつちの

④ かく入りて
舟子とあつ一日
百三十二人の
さう用せ二ふ
おまのあつや
あつて四人とも
まの日はなん

③ あんまの
いけり王の
さう用せの
あつておま
あつてあつて
あつてあつて
あつてあつて



孝子太郎おま
あつち

⑤ あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて

あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて

いせんふらつるあん
ぬのこまはあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて



④ あつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて

あへて

あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて

乙卯春錦橋新堂板目錄

造榮櫻叢紙 <small>つらぎをくささうさうし</small> 九編 梅彦作 十編 芳虎画	品定五人娘 <small>あみさきりごあんむちち</small> 五編 京山作 六編 芳虎画 七編 芳虎画	草女房形氣 <small>あろろむらうごき</small> 十四編 京山作 十五編 國貞画 十六編 國貞画	結鹿子紐屋小説 <small>むづかしなむらびつとと</small> 三編 空中樓花咲作 四編 一陽齋豊國画 五編 一陽齋豊國画	浮穴鳥臍連 <small>うたねぶらひのけみ</small> 五編 花咲作 大尾豊國画	舟所 舟所 舟所 一猛齋芳虎画 一壽齋國貞画	屋敷恋物語 <small>やしきこひものがたり</small> 五編 京山作 六編 京山作 七編 京山作	稲妻巾紙 <small>いなづまきんし</small> 五編 調布作 揃 同 画	笠亭仙果作 一壽齋國貞画	庄 <small>つらぎをくささうさうし</small> 地本 錦繪 問屋 山田屋 庄 兵衛
---	---	---	--	--	---------------------------------	--	---	-----------------	--

卷第十四

西へちりちりうらみあけて「わい
 ちりちりうらみあけて「わい
 まじぢうをにひのまじぢう
 せうらう。ちりちりうらみあけて
 まのこころうらみあけて「わい
 ちりちりうらみあけて「わい
 りあはれまじぢうのまじぢうの
 むしひーあはれまじぢうのまじぢうの
 ろろろちりちりうらみあけて「わい
 ろろろちりちりうらみあけて「わい
 ままぬ・ちりちりうらみあけて「わい
 ちりちりうらみあけて「わい
 ままぬ・ちりちりうらみあけて「わい
 ちりちりうらみあけて「わい
 ままぬ・ちりちりうらみあけて「わい
 ちりちりうらみあけて「わい



歴世女装考 京山作
 神代より述世までの
 女の風俗を
 古書小

をへ草女房形氣十四編をりり
 作者曰
 記したる
 の本あり

三

